

第3章 日本語指導が必要な生徒の受け入れ

1 日本語指導が必要な生徒¹を受け入れる基本的な姿勢

(1) 外国につながる生徒たちをどのように捉えるか

目の前にいる子どもを「日本語ができない子ども」として捉えるのか、あるいは「2つ以上の言語をもつ可能性のある子ども」「日本以外の文化も知っている国際的な子ども」として捉えるのかによって、学校や教職員の対応の仕方や、それを受けて過ごす子どもの成長のあり方も大きく異なってきます。

また、彼らが日本の多文化共生社会の一員であるという認識も重要です。学校において子どもたちの多様性が尊重され、安心して学べる環境を整えていくことが求められます。同時に、外国につながる生徒たち一人ひとりのキャリア形成を支え、彼らを社会へと橋渡しをすることも、特に高等学校においては大きな役割です。

(2) インクルーシブの視点

外国につながる子どもたちは、異文化の環境に置かれることにより、さまざまな社会的障壁（バリア）に直面し、学習への参加が難しくなっています。言語の不慣れもバリアの一つになりますが、文化や習慣、コミュニケーションの面で感じるギャップや、周りがそれを理解してくれないことも別のバリアとなります。

インクルーシブ教育の考え方に基づけば、こうしたさまざまなバリアが、教職員や子どもたちの取組によって取り払われ、また、学校内外の日本語支援や「やさしい日本語²」で伝える取組などの「合理的配慮³」により、十分な教育が保障されます。

さらに、包摂（インクルージョン）されるということは、子どもたちが周囲から「受け入れられている」という実感をもち、自尊感情を高めていくことにもつながります。まずは、子どもたちの気持ちに寄り添う姿勢をもち、何が「バリア」となっているかを理解することが重要です。

2 支援チームで体制づくり

(1) 支援チームの構成

まず、学校全体として支援チームをつくり、受け入れと支援の体制を築く必要があります。支援チームが核となって外国につながる生徒について情報を共有し、学校生活支援に必要な調整や取組を行っていきます。特に、生徒の日常的な見守りや直接的な支援では、学級担任は大きな役割を担うこととなりますが、生徒や保護者とのかかわりの中で、言葉の壁や文化

¹ 第4章 日本語指導が必要な生徒の学習指導 参照

² 第4章 5(2)「やさしい日本語」の使用 参照

³ 何らかの教育的なニーズをもつ当事者から支援を求める意思表示があった場合、過度な負担にならない範囲で、社会的障壁を取り除くために必要な個別の調整や支援を行うこと。

的なギャップがあると考えられます。学級担任が孤立しないように、チームとして話し合い、皆で生徒を支援する体制づくりが必要となります。

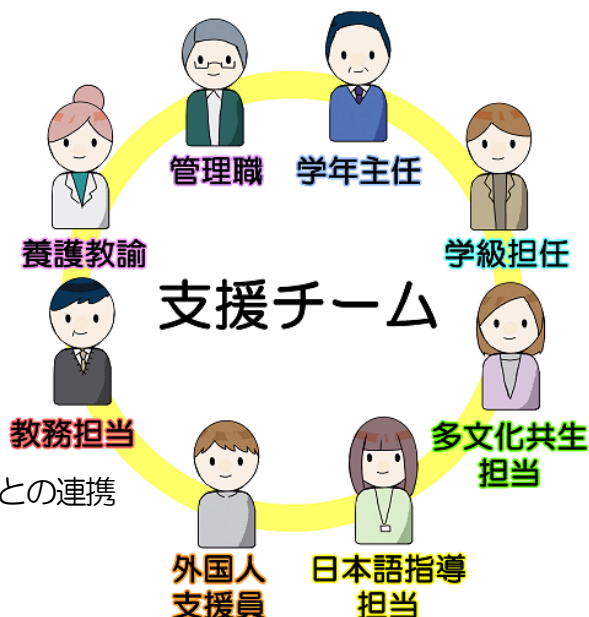
支援チームの構成として、次のようなメンバーが考えられます。

管理職、各学年主任（学年主担当）、学級担任、多文化共生教育の担当者
日本語指導担当者、外国人支援員、教務担当者、養護教諭等

（２）協議内容

この支援チームは定期的に会議をもち、おおむね次のようなことを協議します。

- 学校生活への適応の状況および安心感がもてるような環境の整備
- 教職員の役割分担
- 宗教や文化的背景への配慮
- 健康管理 ・ 保護者への対応
- 学習環境の整備 ・ 進路保障
- 日本語指導の場や時間割の調整
- 多文化共生教育の推進
- 外国人支援員や子ども多文化共生サポーター等との連携
- 外部関係機関との連携
- その他、情報交換 等



また、外国につながる生徒、特に日本語指導が必要な生徒を受け入れるための環境づくりにおいては、教育委員会や地域の諸団体など、学校外との連携・協働体制の構築も欠かせません⁴。

３ 入学時の面談

入学時の面談は、生徒と保護者が学校の体制に安心感を覚え、これからの学校生活に明るい見通しがもてるような「温かい面談」になるよう努めましょう。そのためには、学校生活のどのような点に不安を感じているか、寄り添う姿勢で会話することが大切です。また、面談にあたっては、生徒・保護者の日本語能力の状況により、母語の通訳者⁵を依頼しておくことも重要です。通訳者の手配が難しい場合は、VoiceTra⁶（多言語音声翻訳アプリ）やポケトーク⁷（双方向音声翻訳機）の活用も有効です。

⁴ 第８章 多文化共生をめざして 参照

⁵ 兵庫県教育委員会子ども多文化共生センターで、保護者面談時の多言語相談員（通訳）派遣制度が利用できます（１回につき２時間まで）。

⁶ 国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）作成の翻訳アプリ。無料で使用できます。

⁷ 兵庫県教育委員会子ども多文化共生センターで貸出しています。

入学式までに確認する必要があるのは、以下のような点です。

- ①生徒の本名の表記と読み方⁸。名列表にどのように記載するか。また、本人が学校の中でどのように呼ばれたいか。同様に、保護者の名前の表記。
- ②国籍および在留資格⁹
- ③日本語指導¹⁰の必要性の有無
- ④宗教や文化的習慣とそれに伴う配慮が必要な事項
- ⑤家庭状況（経済状況や奨学金の申請など）
- ⑥その他必要なこと

以上を確認するとともに、学校からも生徒と保護者に、自校の授業や学校生活、行事などについて分かりやすく伝えていくことも大切です。イラストや写真、パソコンやタブレットによるプレゼンテーション・動画などの活用も効果的です。

4 学校生活のスタートとその支援

面談やそれに基づく調整を経て、いよいよ生徒の学校生活がスタートします。最初の1、2週間は、生徒にとって新たな学校生活への戸惑いが多くあり、日本語に不慣れな場合、授業の内容が難しく感じられ、不安を覚えるでしょう。支援チームに関わる教職員らが、生徒の学校生活がどのように進んでいるか見守り、その都度声をかけ、本人の不安に適時・適切に対応することが大切です。

日本語の指導が始まると、通常の授業や学校行事などにスムーズに参加できるように、教職員同士の調整を図りましょう。また、生徒が日本語の上達に自信をもち、学習に持続的に取り組めるよう、ポジティブな言葉かけをすることが大切です。

また、外国につながる生徒が安心感をもてる学習環境をつくるためには、多様性を尊重する学校・学級の雰囲気づくりが大切です¹¹。学校で、生徒の母語でのやりとり（挨拶など）やその文化を紹介するような活動があると、学校生活における安心感や所属意識も高まります。



県立芦屋高校のIEルーム（International Education Room）

以上のように、外国につながる生徒を取り巻く学習や学校生活のバリア（社会的障壁）を一つひとつ取り払っていくことに努めていきます。本人の声から明らかになった課題については、支援チームの中で共有するとともに、全教職員で共通理解を図り、協力して支援を進めていくことが必要です。

⁸ 第9章 1 外国人生徒の名前 参照

⁹ 第5章 5 外国籍生徒の在留資格 参照

¹⁰ 第4章 日本語指導が必要な生徒の学習指導 参照

¹¹ 第8章 3 生徒たちの居場所や出会いの場 参照

入学時間き取りシートの例

名前（在留カード名） なまえ ざいりゅうめい		漢字またはアルファベット かんじ		ひらがな（発音） はつおん		性別（ ） せいべつ	
学校で使う名前 がっこうつか なまえ		漢字またはアルファベット かんじ		ひらがな ひらがな		生年月日 せいねんがっぴ 年 月 日 ねん がつ にち 年齢（ ）歳 ねんれい さい	
卒業した中学校（場所、名前） そつぎょう ちゅうがっこう ばしょ なまえ （ ）立（ ）中学校 りつ ちゅうがっこう 外国の学校の場合 がいこく がっこう ばあい （ ）				日本に来た年月日 にほん き ねんがっぴ 日本 にほん の学校 がっこう への編入 へんにゅう （ ）中学校（ ）年へ ちゅうがっこう ねん			
連絡先 〒 住所 れんらくさき じゅうしょ あなたの電話番号 あなたでんわばんごう 家族（保護者）の電話番号 かぞく ほごしゃ でんわばんごう 家族が家 いえ にいる日、家 いえ に電話 でんわ ができる時間 かぞく いえ ひ いえでんわ じかん 家族の仕事 かぞく しごと							
家から一番近い駅 いえ いちばんちか えき 駅の名前 えき なまえ 家から 分 いえ ぶん				家から学校までの通学時間 いえ がっこう がつくじかん 家から学校まで 時間 分 いえ がっこう じかん ぶん			
生まれた国 と 都市名 う くに としめい 国籍 こくせき 母語 ぼご				父の国・母語 ちち くに ぼご 母の国・母語 はは くに ぼご			
在留資格（ ☒ をつけてください） ざいりゅうしかく ☐ 家族滞在 ☐ 定住 ☐ 永住 かぞくだいざい ていじゅう えいじゅう ☐ その他（ ）				母の国・母語 はは くに ぼご			
家族について かぞく いっしょに住 す んでいる家族 いっしょに住んでいるかぞく 面談は、通訳が必要か？（ ☒ をつけてください） めんだん つうやく ひつよう （ ☐ 必要 ・ ☐ いない） ひつよう お知らせには翻訳が必要か？（ ☒ をつけてください） おしらせ ほんやく ひつよう （ ☐ 読める ・ ☐ ふりがなは必要 ・ ☐ 読めない） よ ひつよう 家で使 つか っている言語 いえ つか げんご							

日本語教室、 学習支援教室、 塾 日本に来て、どこで勉強をしていましたか？ 今も勉強していますか？ (教室の名前、場所) 週に () 回 週に () 回 日本語について あなたは、どのくらい日本語がわかりますか？ (☑をつけてください) □1. 友だちが話していることは、だいたいわかる。 □2. 友だちがゆっくり話してくれれば、わかる。 □3. 友だちが話しかけてきても、よくわからない。 □4. まだ日本語は、わからない。 あなたは、どのくらい日本語が読めますか？ (☑をつけてください) □1. だいたい読めて、わかる。 □2. ひらがな があれば、だいたい読めて、わかる。 □3. ひらがな は読めるが、かたかな は読めない。 □4. まだ日本語を読むのは、むずかしい。 勉強について あなたの苦手な教科はどれですか？ (☑をつけてください) □国語(日本語) □英語 □数学 □社会 □理科 □その他 ()	
将来の夢、進路希望	部活 アルバイト (働くこと)、奨学金申請の必要 放課後補習
そのほかに・・・ 先生に知っておいてほしいこと (アレルギー、宗教、心配なことなど) 高校で、したいこと	



神奈川県特別枠高校の一部で使用されているシートをもとに作成。